




報道発表資料の配付日時 8月 2日 (火) 15時 00分

発表項目	外国人技能実習制度に係る受入状況調査 ～2021年度 調査結果について～										
概要	<p>■調査概要</p> <table border="1"> <tr> <td>目的</td> <td>道では、本道における外国人技能実習生の受入状況を把握することを目的として、平成18年から「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」を実施しており、この度、2021年度（令和3年度）の受入状況を調査結果報告書として取りまとめました。</td> </tr> <tr> <td>対象期間</td> <td>令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>団体監理型の監理団体として、道内での技能実習生の受入れを行っている道内外の団体（協同組合、農協、商工会・商工会議所等）及び企業単独型で道内での技能実習生の受入れを行っている企業</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>169件の調査対象に調査依頼メールを送付し、調査票をメールまたはFAXで返信を依頼。148件より回答があり（回答率：87.6%）、うち134件が道内での受入れを行っていました。</td> </tr> <tr> <td>留意事項</td> <td>本調査は、関係機関などからの情報をもとに、本道で技能実習生の受入れを行っていると思われる道内外の監理団体などを対象に調査を行い、得られた回答を集計したものであり、<u>本道における全ての実習生受入れについて把握したものではありません。</u></td> </tr> </table> <p>■2021年度 調査結果の主なポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症による入国制限で実習生数1年目が大幅に減り、受入数全体が減少 ・各国の受入数が減少する中、インドネシアの減少は小幅。 ・技能実習3号・特定技能1号への移行に際し、約8割が道内に引き続き在留した。 (主な理由：地域・職場への愛着や職場人間関係) <p>■過去の調査結果（※2011年の調査結果から掲載） https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jzi/contents/kokusai.html →右のQRコードからアクセス可</p> 	目的	道では、本道における外国人技能実習生の受入状況を把握することを目的として、平成18年から「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」を実施しており、この度、2021年度（令和3年度）の受入状況を調査結果報告書として取りまとめました。	対象期間	令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日	対象	団体監理型の監理団体として、道内での技能実習生の受入れを行っている道内外の団体（協同組合、農協、商工会・商工会議所等）及び企業単独型で道内での技能実習生の受入れを行っている企業	方法	169件の調査対象に調査依頼メールを送付し、調査票をメールまたはFAXで返信を依頼。148件より回答があり（回答率：87.6%）、うち134件が道内での受入れを行っていました。	留意事項	本調査は、関係機関などからの情報をもとに、本道で技能実習生の受入れを行っていると思われる道内外の監理団体などを対象に調査を行い、得られた回答を集計したものであり、 <u>本道における全ての実習生受入れについて把握したものではありません。</u>
	目的	道では、本道における外国人技能実習生の受入状況を把握することを目的として、平成18年から「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」を実施しており、この度、2021年度（令和3年度）の受入状況を調査結果報告書として取りまとめました。									
対象期間	令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日										
対象	団体監理型の監理団体として、道内での技能実習生の受入れを行っている道内外の団体（協同組合、農協、商工会・商工会議所等）及び企業単独型で道内での技能実習生の受入れを行っている企業										
方法	169件の調査対象に調査依頼メールを送付し、調査票をメールまたはFAXで返信を依頼。148件より回答があり（回答率：87.6%）、うち134件が道内での受入れを行っていました。										
留意事項	本調査は、関係機関などからの情報をもとに、本道で技能実習生の受入れを行っていると思われる道内外の監理団体などを対象に調査を行い、得られた回答を集計したものであり、 <u>本道における全ての実習生受入れについて把握したものではありません。</u>										
別添	2021年度 調査結果報告書（概要版）										

報道（取材）に当たってのお願い	外国人技能実習生の受入は、全道各地で、業種も多岐に渡っております。幅広い方々に、参考としていただきたいので、積極的な報道をお願いします。
-----------------	--

担当（連絡先）	経済部労働政策局産業人材課（担当者：中村） TEL 011-251-3896（内線26-509）
---------	---

外国人技能実習制度に係る受入状況調査 2021年度 調査結果報告書（概要版）

令和4年（2022年）8月2日
北海道経済部労働政策局産業人材課

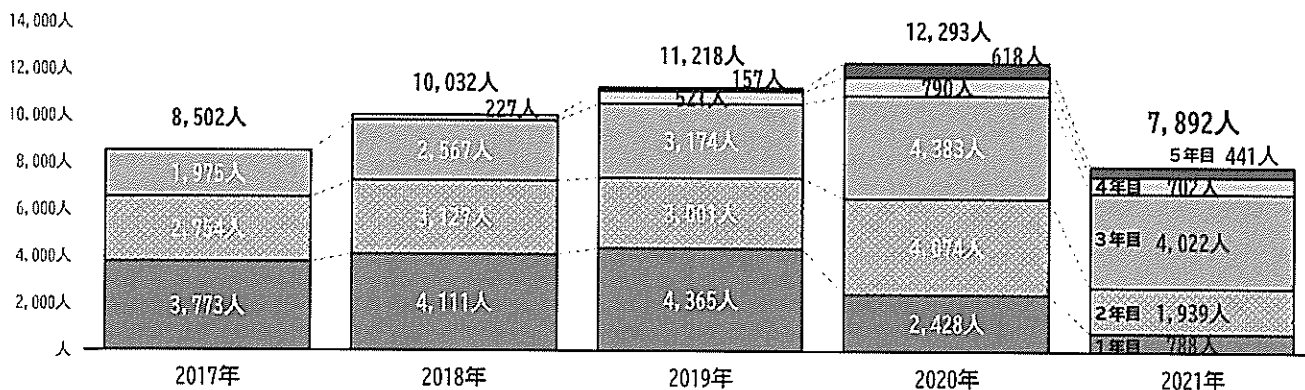
調査結果のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ感染症による入国制限で実習生数(1年目)が大幅に減り、受入数全体が減少（2年間受入数の推移）。 ● 各国の受入数が減少する中、インドネシアの減少は小幅（3国籍別受入数の推移）。 ● 技能実習3号・特定技能1号への移行に際し、約8割が道内に残り（主な理由：地域・職場への愛着や職場人間関係）、約2割が道外に転出（主な理由：賃金等労働条件や気候）（6技能実習(1・2号)修了後の進路）。
-----------	--

1 調査の概要

趣 旨	道では、本道における外国人技能実習生の受入状況を把握することを目的として、平成18年から、監理団体等を対象とした「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」を実施しており、この度、2021年度（令和3年度）の受入状況を調査結果報告書として取りまとめた。
対象期間	令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日
対 象	団体監理型の監理団体として、道内での技能実習生の受入を行っている道内外の団体（協同組合、農協、商工会・商工会議所等）及び企業単独型で道内での技能実習生の受入を行っている企業
方 法	169件の調査対象に調査依頼メールを送付し、専用Webサイトへの入力を依頼。148件より回答があり（回答率：87.6%）、うち134件が道内での受入を行っていた。
留意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本調査は、関係機関などからの情報をもとに、本道で技能実習生の受入を行っていると思われる道内外の監理団体などを対象に調査を行い、得られた回答を集計したものであり、本道における全ての実習生受入れについて把握したものではない。 2. 本調査においては、回答を得られた監理団体に変動があることから、過去の調査結果を「参考値」として記載している。 3. 対象期間中に、1日でも在籍していたら「1人」として集計。そのため対象期間中に、途中で帰国、または途中から来日された方も「1人」としている。 4. 端数処理の関係で、内訳の合計が100%とならない場合がある。 5. 2019年調査までは調査期間を暦年（1/1～12/31）としていたが、前回2020年度調査から年度（4/1～3/31）に変更している。

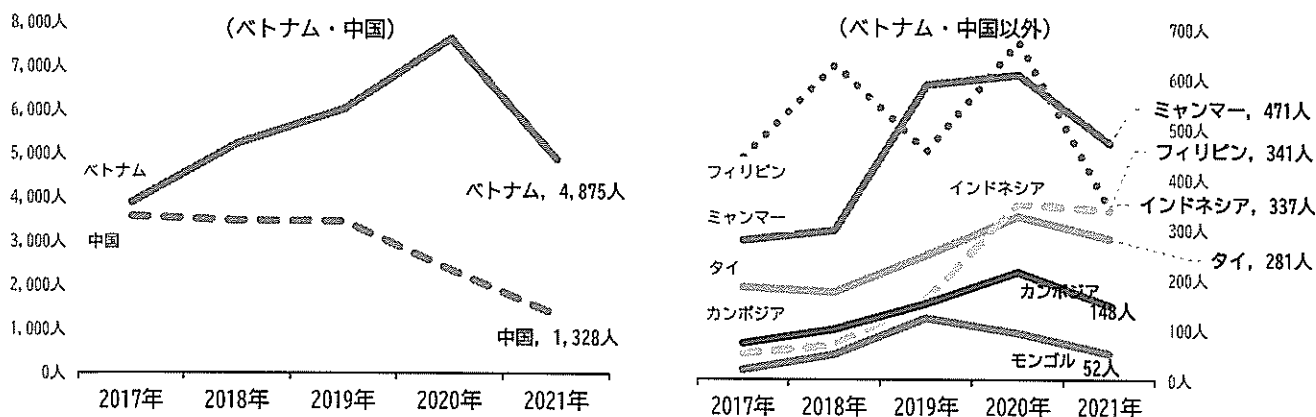
2 年間受入数の推移

※2019年調査までの調査期間は暦年（1/1～12/31）、2020年度から年度（4/1～3/31）に変更



3 国籍別受入数の推移

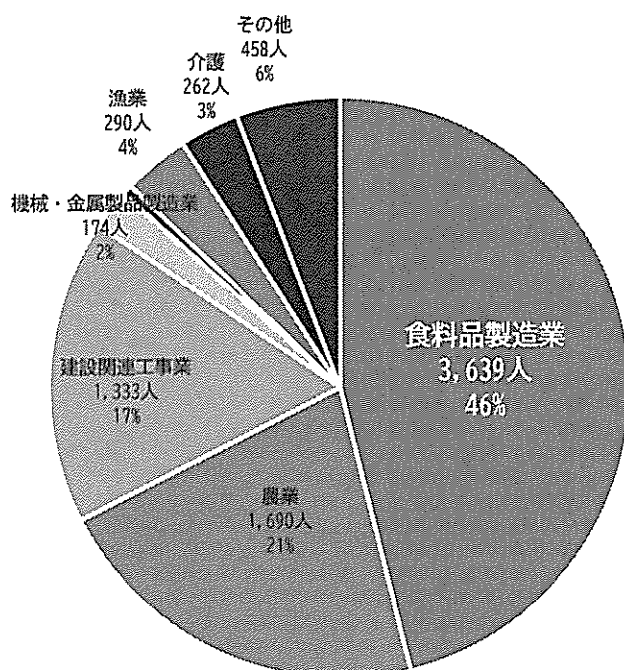
※2019年調査までの調査期間は暦年（1/1～12/31）、2020年度から年度（4/1～3/31）に変更



4 振興局別受入数（上位3業種）

	2021年		1位		2位			3位			
	実施者数	受入数	業種	実施者数	受入数	業種	実施者数	受入数	業種	実施者数	受入数
空知	71社	310人	建設	27社	87人	食品製造	10社	60人	機械・金属	7社	59人
石狩	299社	1,762人	食品製造	47社	708人	建設	164社	605人	介護	30社	122人
後志	73社	384人	食品製造	24社	174人	農業	19社	70人	介護	2社	20人
胆振	98社	585人	食品製造	16社	242人	農業	37社	94人	建設	32社	93人
日高	51社	101人	農業	49社	79人	漁業	6社	12人	食品製造	2社	4人
渡島	101社	702人	食品製造	36社	534人	漁業	37社	88人	介護	8社	35人
檜山	6社	14人	農業	4社	7人	衣服等製造	1社	5人	介護	1社	2人
上川	153社	609人	農業	63社	261人	建設	57社	192人	食品製造	11社	85人
留萌	57社	233人	食品製造	9社	99人	漁業	39社	97人	建設	6社	21人
宗谷	65社	323人	食品製造	37社	267人	農業	23社	46人	建設	6社	10人
オホーツク	199社	1,272人	食品製造	67社	822人	農業	107社	310人	建設	15社	94人
十勝	179社	525人	農業	116社	338人	建設	36社	93人	食品製造	5社	48人
釧路	121社	437人	食品製造	18社	244人	農業	85社	133人	建設	13社	43人
根室	142社	635人	食品製造	26社	362人	農業	98社	227人	建設	13社	35人

5 業種別受入数



6 技能実習(1・2号)修了後の進路

	技能実習修了数	
特定活動	1,029人	
帰国	1,195人	
技能実習3号	731人	
特定技能1号	1,453人	
その他	40人	
回答数計	4,448人	
	技能実習修了者数	左記のうち道外他企業へ実習先変更・転籍
技能実習3号へ移行	731人	62人
特定技能1号へ移行	1,453人	450人
合計	2,184人	512人

(道外他企業へ実習先変更・転籍の主な理由)
賃金等労働条件 296人、気候 96人、その他 120人